

キャラクター名
桜井 幽 (さくらい ゆう)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	レネガイドビーイングD	カヴァー	スターダスト隊長
	ウロボロス					
オプション			年齢	(見た目は) 20代前半	性別	女
覚醒	憤怒	衝動	嫌悪		初期侵食率	44 %
出自	RB53 : 転生体	経験	RB98 : 記憶喪失	邂逅	RB56 : 同行者	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	0			2	行動値	9
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	9
精神	4	0	1			5	戦闘移動	14
社会	0	1	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	8		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
フォーマル	
コネ: UGN幹部	
コネ: 情報屋	
コネ: 手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D《転生者: 鏡の中の人形》	P	N		
おぼろげな記憶	P 幸福感	N 隔意		
夢騒 かなみ	P 好奇心	N 恐怖		
"ワイズマン"	P 傾倒	N 不信感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	+5	常時					
効果: 衝動判定+[LV]d								
原初の黄: 扇動の香り	3	5/+3	セットアップ					
効果: ラウンド中、対象を攻撃するキャラクターは命中判定+[LV]d								
オリジン: レジェンド	5	2	マイナー					
効果: 【精神】判定の達成値+[LV*2]								
原初の赤: サイレンの魔女	4	6	メジャー	視界	シーン(選択)	(RC) 対決	(コントロール) 確	
効果: 攻撃力[LV*3]の射撃攻撃。装甲値を無視する								
原初の白: さらなる力	1	7/+3	メジャー	至近	単体	(RC) 2080%	1/5カット	
効果: 対象は未行動状態になる								
浄玻璃の鏡	1	1	リアクション			(RC)		
効果: ドッジを行う								
鏡の中の人形	1	7	オート	視界	単体		100%、LV/3ナリ	
効果: 対象がドッジに失敗したとき、あなたがそのドッジを代行する								
メモリー: 告死天使	★							
効果: [遺志/不安]受け継がれる罪。バックトラックを振る前に侵蝕率を-10できる。								
イーザーフェイカー: 偏差把握	★	+1						
効果: だいたいニュータイプ								
傍らの影法師	★							
効果: 影を立体化させ、エキストラとして動かせる								
効果:								
効果:								
効果:								

「無為に力を振り回すだけでは捉えられやしませんよ …"虚無を残して去れ"」
「私たちの力はどうあっても誰かを傷つけずにはいられない。戦いに身を投じるなら覚えておきなさい」
「…夢を見るにも体力が要るんですよ。私はもう疲れました」

輝く太陽も 照らされる月も 光る星も 流れる雲も 闇に融けて消えてしまえ
私は手を伸ばす 終わらせるための手で 始まりを手繰り寄せるために

UGNで保護観察下に置かれている、或るジャームの転生体であるRB。
生前と同じ名前を名乗っているが、これは本人(?)の意向であり、UGNもそれを容認している。
(腫れ物に触れることで余計な被害が出ることを恐れている故の対応だが、幽もそのことには気がついており外部との接触を最低限にとどめている)

生前の記憶はところどころ不明瞭であり、幽曰くはっきりと覚えているのは
同族殺しを標榜し、仲間を率いてオーヴァードと戦い続けていたこと
その戦いの果て、単身でとあるUGN支部に挑み命を落としたこと
程度であり、戦いに身を置くに至った情動までははっきりと覚えていない。日常や仲間の記憶もおぼろげである。
(PL駐: 「だいたいそんなことがあったんだな」くらいに考えていただければ大丈夫です)

戦闘では生前の彼女が駆使していたであろう技によく似たものを使いこなす。
そのいずれもが似たもの止まりであり、見た目こそ同じようでもその本質は別物